

U.S. Indicators

米国 予想下振れも景気の堅調さを示す水準(17年11月PMI：速報値)

：2017年11月27日（月）

～11月の民間雇用者数の堅調な増加を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

11月のPMIは製造業、サービス業ともに前月から低下したが比較的高い水準を維持

17年11月の米国総合購買担当者指数（PMI）の速報値は、54.6と前月比0.6%ポイント低下したが高い水準を維持している。製造業が53.8と前月比0.8%ポイント低下したうえ、サービス業が54.7と前月比0.6%ポイント低下した。製造業とサービス業がともに小幅低下する形で経済活動が若干スピード調整したことを示している。

製造業では、生産、新規受注、雇用、在庫が前月から低下した。寄与度をみると、入荷遅延が前月比▲0.47%ポイント、雇用が前月比▲0.17%ポイント、在庫が前月比▲0.11%ポイント、新規受注が前月比▲0.10%ポイント、生産が前月比▲0.04%ポイントの押し下げ寄与となった。また、輸出受注は小幅低下したが、11月の日本製造業PMIが53.8、ユーロ圏製造業PMIが60.0と高い水準を維持するなかで、輸出の拡大を示す水準を維持した。一方、サービス業では、活動指数が低下したが、新規受注、雇用が前月から上昇した。また、将来の活動指数が高い水準を保っており、楽観的な見方が維持されている。

雇用動向を示す雇用指数は、11月に製造業が低下したが、非製造業が上昇したことで、全体では上昇しており、11月の民間雇用者数の堅調な増加ペースの持続を示唆している。

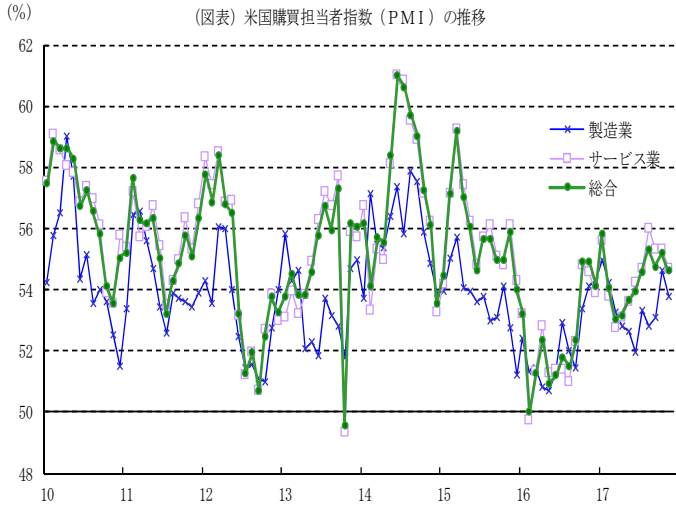
インフレ面では、投入コストが前月から上昇した。製造業ではハリケーン「ハービー」、「イルマ」の襲来によるサプライチェーン被害によって化学、エネルギー関連での投入コストが上昇し、販売価格でも上昇圧力がやや強まったことが示された。また、サービス業では、燃料や食品関係の投入コストが上昇し、サービス価格の上昇圧力を小幅強めた。

PMIは四半期でも高い水準を維持

四半期でみると、10、11月平均は54.9と、7－9月期平均の54.9（4－6月期53.6）と変わらず、高い水準を保っており、10－12月期の米国景気が堅調さを維持していることを示している。

今後もドル高や中国経済の減速など需要の伸びを抑制する要因が残存するも、雇用・所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大や、企業業績の改善などに伴う設備投資の増加を背景に、米景気の堅調さが持続するとみられ、PMIは当面高い水準を維持すると予想される。

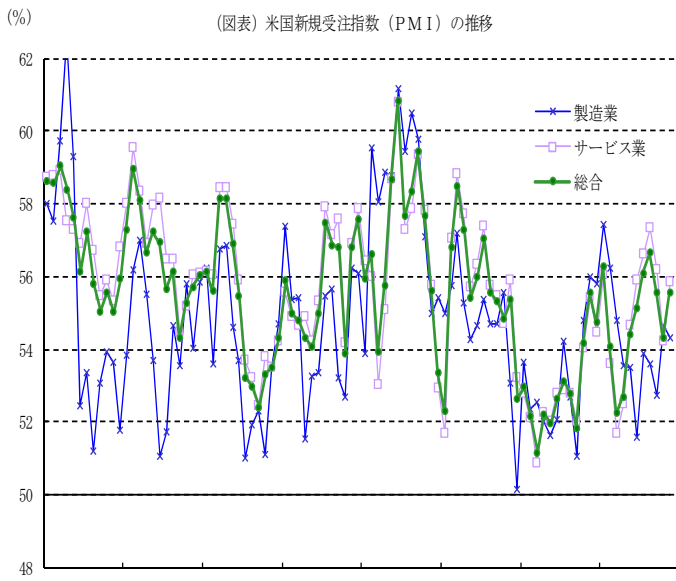
なお、11月のISM製造業景気指数は56.8と10月の58.7から小幅低下すると見込まれる。



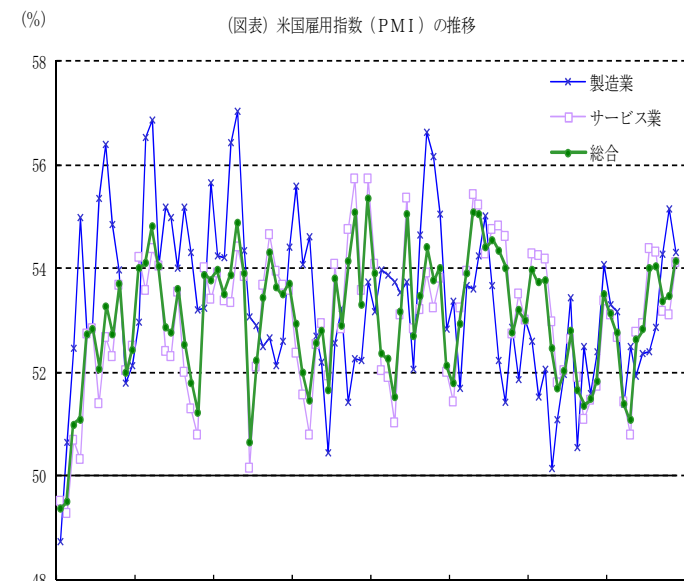
(出所) IHS Markit



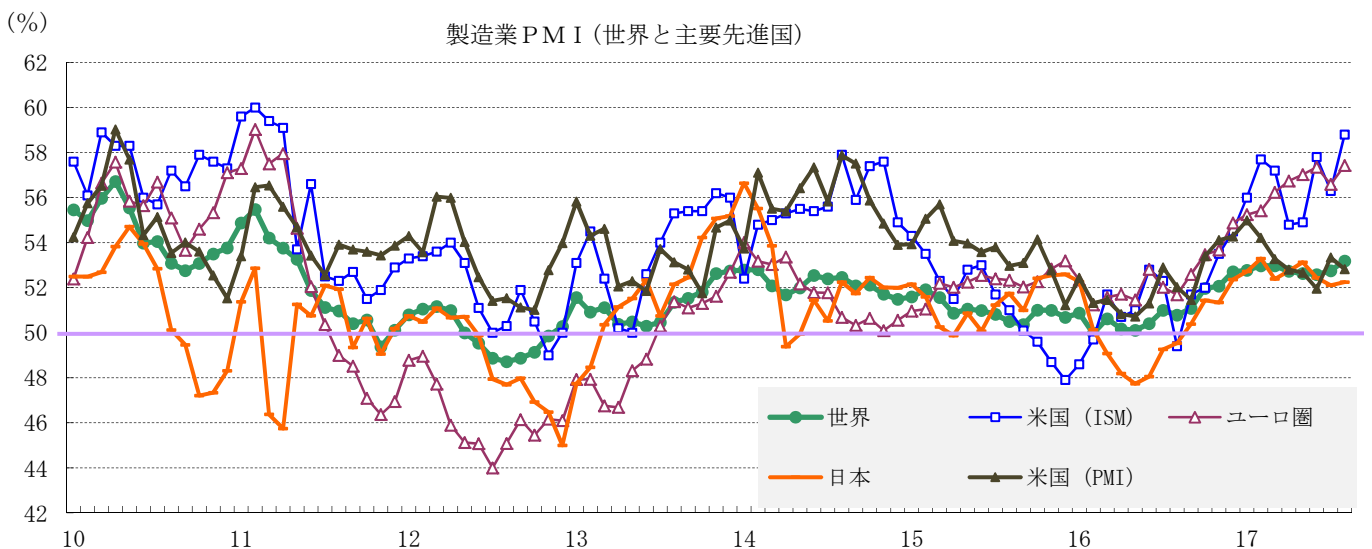
(出所) IHS Markit



(出所) IHS Markit



(出所) IHS Markit



(出所) ISM, Markit Economics

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。